



# HOKKAIDO UNIVERSITY

Title	研究室報
Citation	独語独文学科研究年報, 10, 97-99
Issue Date	1984-03
Doc URL	<a href="https://hdl.handle.net/2115/25649">https://hdl.handle.net/2115/25649</a>
Type	other
File Information	10_P97-99.pdf



# 研 究 室 報

講 義 内 容 (昭和58年度)

## 学 部

塩 谷 饒	独語学概論
青 柳 謙 二	独文学史概説
T. Beckmann	Heinrich von Kleist's Dramen

## 学部・大学院共通

{	小 栗 浩 (集中)	ドイツ古典主義
	塩 谷 饒 (後期)	ドイツ韻文の形態
	青 柳 謙 二	Einige moderne Erzählungen und deren Interpretation
	植 木 迪 子	言語研究の基本問題
	渋谷 寿 一	19世紀リアリズム文学
	P. Richter	Kurzgeschichten und Erzählungen von Heinrich Böll

## 大 学 院

塩 谷 饒	ゴート語入門
青 柳 謙 二	Methodenprobleme der deutschen Literaturwissenschaft
植 木 迪 子	疑問文研究
T. Beckmann	Grundzüge einer geschichtlich vergleichenden Laut- und Formenmorphologie von ihrer Herkunft bis ins späte Mittelhochdeutsche
T. Beckmann	Einführung in Kant's „Kritik der reinen Vernunft“
T. Beckmann	Kolloquium für Studenten des Magister- und Doktorkurses

## 昭和57年度論文題目

### 卒業論文

- 仙石 享 アルトゥール・シュニッツラーの短編小説と戯曲  
羽山 誠司 ロベルト・ムージルの初期作品『少年テルレスの惑い』について  
吉田 慎子 ケストナーと児童文学  
大弓 俊樹 舞台聖祝祭劇『パルジファル』の諸問題  
遠藤 浩子 「概ね」を表わすドイツ語副詞の意味・用法についての考察  
池田 真理子 ブレヒトの“叙事的演劇” — 諦めと発見 —

### 修士論文

- 寺田 龍男 中高ドイツ語の動詞 *tuon* と *getuon* について — Das  
Nibelungenlied の場合 —

## 研究室行事記録

- ◎ 昭和57年12月11日に、下記の講演会が百年記念会館で開かれた。  
Till Beckmann氏(北大外国人教師)：Marienberg—Ein Kloster in den Alpen
- ◎ 昭和58年2月19日に、昭和57年度卒業論文・修士論文発表会が独文学研究室で行なわれた。
- ◎ 昭和58年度は、下記の講演会が開かれた。
- ・3月17日(北大附属図書館教養分館)  
Claudius C. Müller氏(バイエルン州立民族学博物館)：バイエルン州立民族学博物館  
— その歴史と活動
  - ・8月1日(文学部会議室)  
Götz Wienold氏(Konstanz大学教授)：Kohärenz in Erzähltexten
  - ・9月10日(文学部会議室)  
Peter von Polenz氏(Trier大学教授)：Woraus besteht ein Satz? Konstituenten des Satzinhalts
  - ・昭和59年2月4日(文学部会議室)  
Till Beckmann氏(北大外国人教師)：Grundgedanken in Friedrich Nietzsches  
, Also sprach Zarathustra ‘

## 北海道大学ドイツ語学・文学研究会会則

1. 本会は北海道大学ドイツ語学・文学研究会と称する。
2. 本会はドイツ語学・文学の発展に寄与することを目的とする。
3. 本会は上の目的達成のため下記の事業を行なう。
  - 1) 機関紙「独語独文学科研究年報」を毎年1回発行する。
  - 2) 合評会、研究会、講演会等を随時行なう。
4. 本会員は北海道大学文学部独語・独文学研究室の教官・院生（学生も含む）ならびにその趣旨に賛同する者によって構成される。
5. 本会員は上の活動の遂行のため所定の会費を支払う。
6. 本会は1名の会長と若干名の幹事をおく。幹事は会計および編集委員を兼任する。
7. 本会の会計年度は毎年4月1日に始まり3月31日をもって終わる。
8. 本会の事務所は北海道大学文学部独語独文学研究室におく。

### 会 員 名 簿

青 柳 謙 二	伊 藤 智	伊 藤 祐紀子	石 川 克 知
石 橋 道 大	岩 井 洋	岩 田 聡	植 木 迪 子
梅 津 真	江 口 豊	小 澤 幸 夫	加 藤 寛 蔵
川 島 淳 夫	川 東 雅 樹	岸 川 良 蔵	佐 藤 厚
佐 藤 修 子	佐 藤 俊 一	◎ 塩 谷 饒	神 久 聡
鈴 木 将 史	瀬 川 修 二	瀬 野 文 教	高 橋 修
高 橋 吉 文	田 中 剛	対 馬 晃	○ 寺 田 龍 男
西 川 智 之	藤 本 純 子	三 浦 国 泰	最 上 英 明
森 田 一 平	山 田 恵 子	山 田 善 久	渡 辺 千 枝 子

◎ 会 長

○ 幹 事